

## 平成21年度登別市事業仕分け結果

掲載している事業仕分けの評価結果・評価内容については、コーディネーター及び仕分け人が協議して導き出した評価結果を尊重し、原文のまま掲載しております。

市は、この仕分けの評価結果などを参考に事業の方向性などについて最終的な判断を行い、平成22年度予算を決定します。

番号	事務事業名 (担当グループ名)	仕分け 結果	仕分けの評価内容
1	登別市名誉市民 及び功労者表彰・ 市表彰事業 (総務グループ)	登別市 (要改善)	<p><b>事業の趣旨に沿った内容見直しが必要。</b></p> <p>市民表彰という事業の意義はあり今後も継続することが適当。 しかし、組織の役員などが年数など機械的な基準によって選定される一方、特に役職にはついていないが、地域で地道な活動を行っている人が市表彰の選考基準にないことから、『選定基準の見直し』を行う必要がある。 また、市民がこの人は表彰されるにふさわしいと思う人が選ばれるように、市民の声が反映しやすい『選定方法』についても検討が必要。 なお、市職員、議員は公務自体を職務としている。事業の趣旨からいって、市民表彰からは除外することが適当。</p>
2	戦没者追悼式 関係経費 (社会福祉グループ)	登別市 (要改善)	<p><b>時代の変化に合わせた事業内容の見直しが必要。</b></p> <p>意義ある事業と認められるが、参加者の減少や時代の移り変わりを考慮し、追悼式主体から戦争の悲惨さや平和の尊さをより広く市民に周知し、理解を深める事業に移行していく時期にさしかかっている。そのためには、書道展などだけでは市民の関心と呼びにくいことから内容を充実するための工夫が求められる。 また、追悼式典については簡素でコンパクトな開催（バス送迎の見直しなど）を検討し、将来的な在り方については近隣自治体との合同開催や市内各地域での開催などいろいろなやり方があり、市民の声を聞きながら考えていく必要がある。</p>
3	老人憩の家 整備事業 (社会福祉グループ)	登別市 (要改善)	<p><b>施設補修は必要だが、関係諸施設の将来構想の検討と一元管理など施設管理の在り方の見直しが必要。</b></p> <p>老人憩の家の補修整備自体は必要。 しかし、当該施設をはじめ各地域にある市の施設はいずれも築30年が過ぎ老朽化が目立つ。とりあえず老朽化が目立つものから補修するのではなく、各地域に多数散在する市の施設の集約化を含め、市として将来を見据えた構想をしっかりと持った上で補修計画などを立てて取り組むことが、無駄な投資を避けるためにも不可欠。特に、老人憩の家、婦人研修の家、集会所については、市民は施設の名称にかかわらず使っているが、市の各担当部署が設立目的と所管に縛られており、バラバラの管理がなされている。また、各担当部署は所管する施設しか視野に入れていないため、結果として、市の諸施設の今後に関する全体構想がないという縦割り行政の弊害が生じている。是正が必要である。</p>
4	婦人研修の家 管理事業 (社会教育グループ)	登別市 (要改善)	<p><b>施設補修は必要だが、関係諸施設の将来構想の検討と一元管理など施設管理の在り方の見直しが必要。</b></p> <p>婦人研修の家の補修整備自体は必要。 しかし、当該施設をはじめ各地域にある市の施設はいずれも築30年が過ぎ老朽化が目立つ。とりあえず老朽化が目立つものから補修するのではなく、各地域に多数散在する市の施設の集約化を含め、市として将来を見据えた構想をしっかりと持った上で補修計画などを立てて取り組むことが、無駄な投資を避けるためにも不可欠。特に、老人憩の家、婦人研修の家、集会所については、市民は施設の名称にかかわらず使っているが、市の各担当部署が設立目的と所管に縛られており、バラバラの管理がなされている。また、各担当部署は所管する施設しか視野に入れていないため、結果として、市の諸施設の今後に関する全体構想がないという縦割り行政の弊害が生じている。是正が必要である。</p>
5	学校開放事業 (社会教育グループ)	登別市 (現行どおり)	<p><b>現行どおりだが、事業のやり方には一部工夫が必要。</b></p> <p>この事業は意義あるものと認められる。一番の問題は『鍵の管理』にあると思量され、そのための人件費が経費で大きな比重を占めている。室蘭市では鍵の管理は利用者の責任で行われているが、例えばキーボックスを設置して利用責任者が使用後には責任をもってそのボックスに鍵を戻す、あるいは現在シルバー人材センターに委託している委託時間の再検討などの工夫が必要。 また、使用料は電気代相当分と低く設定されているが、利用者が多く、利用したくてもできない市民がいると聞いている。公費投入が当然という前提ではなく、受益者負担の考え方を導入して使用料の引き上げなどについても検討を行う必要がある。</p>